



発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3193 Eメール nie@shinanoji.net

21年度NIE研究指定校 公開授業実施

新聞記事読み 意見交換

考え深め 社会に関心

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会(会長 松本康・信州大教育学部教授)の2021年度NIE研究指定校12校の公開授業が、年度内にすべて実施されました。今回のNIEだよりは前号に引き続き、後半に行われた六つの授業の内容を開催日程順に紹介します。後半は小中学校と高校で社会科学と道徳、国語の授業が行われました。新聞記事を読んで意見交換をしたり考えを深めたりする実践などがあり、児童や生徒たちが社会への関心を広げていました。

飯田市旭ヶ丘中学校 1年4組は社会科学で新聞を活用しました。昨年11月10日の授業では、米国で開発が進む培養肉について書かれた記事を紹介。培養肉は環境保護につながるのか、食用肉生産者の不利益にならないかと意見を交わしました。中野市中野平中学校 3年2組は同11月15日に道徳の授業を実施。テニスの大坂なおみ選手が黒人差別に抗議するマスクを着けて大会に出場したことに関する記事を題材に、人種差別問題の根深さや、差別解消に自分たちができることを話し合いました。

飯田風越高校2年生は新聞記事を選り、テーマで記事を選び、

NIE実践レポート提供

21年度版 県NIE研究会

長野県内のNIEを実践する教員などでつくる長野県NIE研究会(会長 林洋一・松本筑摩高校校長)は、県内で2021年度にNIEを実践した先生方の報告をまとめた「

2021年度NIE実践レポート」を作り、希望者にデータを提供しています。感染症対策で実践者同士が集う会合を開けない中でも情報を交換し、研究を深め

小学校4校、中学校2校、高校1校の計7校分、26ページ。ある小学校は、4年生の社会科学で「地域のために働く人」について書かれた記事を探し、県内で活動する人やその思い

を知った実践を紹介しています。申し込みは、①氏名②所属③メールアドレス④電話番号を書いて、研究会事務局のメール(nie@shinanoji.net)へ。レポートをメールで送りません。無料。問い合わせは事務局(県NIE推進協議会事務局内。電話026・236・3480)へ。

一つスクラップし、地理の授業で発表してきました。同12月の授業では、各自のスクラップを見返して自分の関心がある分野を分析。進路選択も見据えて自分を見つめ直し、社会への関心も広げました。安曇野市豊科北中学校1年3組は情報の整理や活用を学ぶ国語の授業で新聞を活用。0〜13歳の自分の誕生日に発行された新聞から好きなテーマで記事を選び、スライドにまとめました。誕生日を切り口に、多彩な情報満載の新聞に親しみました。須坂市相森中学校3年3組は、社会科学「生産と労働」の学習に新聞記事を活用。今年1月24日の研究授業は、やりがいを持って働く人や新しい働き方を探る企業を紹介する12の記事を示し、記事をヒントに「働く上で何を大切にしたいか」を考えました。